森の風の記憶 vol.92

令和2年度 冬号（通巻92号） 2月28日発行 まちむら応縁倶楽部

紋原・福寿草

今年は諸塚山山開きもオンライン！

第36回「諸塚山山開き」はリモートキャンペーンで実施します。
登山の思い出を写真や動画に残すもよし、リモートツアーでおうちから大自然を満喫するもよし。いろんなスタイルで天孫降臨の諸塚山を楽しんでみませんか。

リモート登山ツアー

申込受付中

詳細
開　催：3月27日（土）10時～12時
定　員：20名※先着順
参加費：5,500円/1セット

※料金は全て税込です。商品代と送料を含みます。
送付物：
●酒粕/100g ●きんかん/100g ●お米/2合
●釜炒り茶/2人分のティーバック×3
●煮しめ/冷凍・2人前
●朝日新聞社タオル ●山開きペナント

申込期限 3月16日（火）

募集中♪
リモート登山ツアー / 写真・動画コンテスト / ペナント配布

やま学校の足あと👣を語ろう！
オンライン同窓会・参加無料！

申込受付中

3度にわたり振り返ったやま学校のこれまで。ですが、全然足りませんでした…
折角なら、過去ご参加いただいたみなさんと、お顔を見ながら話したい！
いろいろと諸塚の特産品をお送りして食べながら…と思っていたのですが、
やるならたくさんの方にお気軽にご参加いただきたい！ので、無料で開催！
過去のやま学校担当者全員に現在出演打診中です。お楽しみに♪

申込期限 3月19日（金）

詳細
開　催：3月20日（土）11時～13時
定　員：なし　参加費：無料

URLはお申込者へご案内します。
3月14日までにお申込みいただいた方は、
出来る限り参加された回のお写真を
ご用意いたします。

お申込・詳細はコチラ　リニューアル！公式サイト「もろつかナビ」

〈発行元〉 送付をご希望の方、送付中止をご希望の方は下記へ
〒883-1301
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代 3068 しいたけの館21内
一般社団法人 諸塚村観光協会 まちむら応縁倶楽部
TEL:0982-65-0178 FAX:0982-65-0189
ecom@vill.morotsuka.miyazaki.jp

＼情報発信中！／
もろつかストア
Instagram
twitter
facebook
YouTube

世界農業遺産 高千穂郷・椎葉山地域

しぜんと、つながる。
諸塚村 Morotsuka Vill.

昔日のリアルやま学校

コラム連載 番外編 『春が待ち遠しいこの頃ですね』

世の中、コロナの第三波が蔓延して連日多くの人が罹患しています。幸い諸塚村は感染者0ですが油断は禁物です。

観光協会職員の業務も、大きく様変わりしました。直接、参加するイベントは取りやめオンラインでのツアーで、キレンゲショウマツアー、柚子コショウ作りと椎茸料理、山学校ツアーの振り返り等行ってきました。この先も、この様な取り組みが多くなってくる事でしょう。

池ノ窪グリーンパークもログハウスとキャンプ場をリニューアルして客足が増えていましたが、県の緊急事態宣言を受けて、2月7日まで閉鎖となりました。今は堪え忍ぶしかない状態ですが、先を見据えて色々と対策を練る必要があります。観光協会職員の知恵を集めてアイデア溢れるプランが生まれる事を期待する所です。

皆様方のご健勝を祈りつつこの辺で失礼します。

尾形

VIEW SPOT

松の平下村から方川へ向かう道の途中、開けた空間からダム湖が姿を現しました。
なかなか見ることができない塚原ダムの正面です。ダム湖の濃緑とモザイク林、
奥にはまだ痛々しい姿の地滑りの跡。美しいだけではない、自然の激しさも感じられる風景です。

岩切

出会い

森の村から未来を描く

新時代を生きる諸塚のわけもん達

番外編

東京都立大学３年生　**菅 彌生**さん

2021年1月から約1か月半の活動を行った東京都在住の菅彌生さんは、東京都立大学法学部の3年生。身の回りにあふれる食べ物のことをもっと知りたい、という気持ちから農業生産や加工の現場に触れてみたいと、このプロジェクトに応募いただきました。

インターンシップ前半は、特産品販売所「もろっこはうす」を拠点として諸塚の特産品について理解を深め、そのPRについて何かできることはないかと模索。後半は、諸塚で知り合った生産者の方を訪ねて取材をし、PR動画をまとめてもらいました。動画制作は初めての経験だったそうですが、テレビのドキュメンタリー番組のような見ごたえのある仕上がりでした。最終日に行った報告会では、地元の住民にとっても村を再発見できる内容だったと感想がありました。

登場する村民皆さんの活き活きとした表情が印象的で、これを引き出したのは菅さんの人柄ではなかったかなと思います。

動画は全部で5点、諸塚村の公式Youtubeチャンネルで公開中ですので、ぜひご覧ください。

田邉

諸塚村農林業ビジネス・インターンシップ

「インターンシップ」は、大学生などが自身の専攻分野や将来のキャリアに関連した職場におもむき就業体験を行うことです。平成29年度から本格スタートした諸塚村農林業ビジネス・インターンシップでは、この夏までに30名を超える学生が参加しています。

諸塚の日常をお届け！

諸塚のハロウィン？ぜんぜほっほ♪

子育てをするお母さんが、豊かな自然の中で子ども達と過ごす日常を綴ります。今回は、旧正月に行われるレアイベント！

諸塚村の七ツ山本村。我が家の親戚が暮らすこの集落では、旧正月の大みそか、日も暮れようかとしている頃子ども達の歌声がにぎやかに響きます。

うちの子どもたちもお邪魔して、「ゼンゼホッホ　ゼンゼホッホ　うちのセドやのアワヒエ食うな…」と歌いながら、集落の家々の玄関先で自分の背丈以上もありそうな竹の先を地面に叩きつけます。一通り終わると、各家庭が用意してくれているお菓子をリュックに詰めて次のお家へ。

子どもたちがすごく楽しみにしている「ぜんぜほっほ」は、このあたりの鳥追い行事。鳥やもぐらを追い払い、新年の五穀豊穣を願います。お菓子は、そのお礼ということですね。お家を訪ねてお菓子をもらうなんて、ハロウィンみたいじゃありませんか？

昔は、子どもたちだけで家々を周り、終わるとお稲荷さんに竹を奉納していたそうですが、今では保護者も一緒に付き添って周ります。毎年、リュックいっぱいのお菓子と打ち付けた竹を持って帰って来ます。

普段は生活区域が違ったり、年代が離れている子どもたちだけでなく親同士も交流できる、楽しい行事です。

嫁入りした人も子どもを連れて諸塚へ帰ってきやすい旧正月。今年はコロナで中止になりましたが、ずっと変わらずに続いてほしいものです。

黒木

▼「ゼンゼホッホ」と歌いながら竹を玄関先に打ち付ける

▲旧正月を彩る、飾りのようなカラフルなお餅

ご報告

かずらリースづくり

2020年12月12日 開催

エコツアー
諸塚でやま学校しよう!
第175回
えんぱくコラボ
日帰りコース

“えんぱく”に合わせて行った、かずらリースづくり体験。3密を避けるべく、限定10名で外や広い場所を使って催行しました。

しいたけの館21のウッドデッキで、いいお天気の中お気に入りのかずらの枝を選び、好きな形に丸めた後は池の窪グリーンパークに移動。村内の豊かな自然を感じながら素材を集め、暖かな温室で思い思いにリースを装飾していきました。思い出が詰まったかずらのリース。諸塚を思い出すきっかけになると嬉しいです。

▲それぞれの個性が発揮されます

ご報告

冬の諸塚の味をおうちで♪

椎茸ステーキと柚子胡椒

2020年12月19日 開催

MOROTSUKA Vill. Eco tour
オンラインで
やま学校しよう!
第2回

九州各地より7名にご参加いただいた、2回目のオンラインツアー。今回の指導役は、小原井で農家民宿「新家」をされている甲斐信子さん。料理上手なだけでなく、ピザやパンも自家製小麦から作る凄い方。今回お送りした生しいたけや干し唐辛子は、信子さん宅で採られたものでした。柚子はやましぎの杜産。諸塚の味を十分に感じていただけるラインナップとお品書きでお届けです。

当日はzoomを使って配信を行い、参加者さんの手元や進み具合を見ながら、分かりやすいようにカメラの角度を変えてみたりと、学びが多い回でした。参加者さんそれぞれの個性も見えたり、遠くにいても近く感じることが出来て、楽しい催しになりました。

▼やましぎの杜から生配信!

ご報告

やま学校の足跡を語ろう!

3回に分けてお届けしました

2020年12月5日・2021年1月16日・2月6日 開催

MOROTSUKA Vill. Eco tour
オンラインで
やま学校しよう!
番外編

YouTubeライブを使ってお送りした、やま学校の足跡を語ろう!第101回～最新回、第51回～100回、第1回～50回の3部に分けて、それぞれ当時の担当者にお越しいただき写真を見ながら振り返りました。

「もうあんまり覚えてないよー」と言いながらも、当時の写真を見るとどんどん思い出が蘇ってくるようでした。視聴いただいた方の中に、常連のやま学校生もいらっしゃり、そのやり取りも楽しめる内容となりました。

3月20日には、いよいよ同窓会。当時の写真をふんだんにご用意する予定ですので、zoomを使い、顔を見ながら思い出にふけりましょう!

編集後記

1日も早く、コロナが収まりますように。今は只それだけ。 **尾形**

オンラインでの会議や研修に参加する機会が増えてきて、数年ぶりにオンラインで再会!という嬉しい事もありました。
3月に実施するやま学校同窓会でも、なつかしい再会がありますように。皆さん、ふるってご参加ください。 **田邉**

今年もまた花粉症の季節に入ってまいりました。去年よりも飛散量が多くなるようです…。
目に鼻に…辛いですよね～。 **黒木**

以前、新陳代謝の激しい業界にいたころ、変化に対応できなかったものが無くなっていくという話を耳にしていました。
大切な部分を残しながら、新しいものを取り入れる。諸塚村のような場所は貴重だと感じます。 **岩切**